

II おとなの健康

各種がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診は、**2月末日**で終了です！
※実施期間終了間際は混雑し、予約が取りにくくなります。対象の人は早めに検診を受けましょう。

事業名	対象年齢は、平成31年3月31日時点での年齢です	検診費用、検診内容等	持ちもの
■ 大腸がん	40歳以上の人（実施期間内1回）	500円（2日間の便潜血反応検査） 検査キット（検便）を医療機関に提出するだけの自宅で簡単にできる検査です。検査で陽性と出た人は精密検査を受けてください。	・健康手帳 ・健康保険証 ※胃内視鏡検診は受診票（さんて郡山で、発行、送付可）
■ 胃がん	胃エックス線検診（バリウム） 40歳以上の人	胃部エックス線検査（バリウム）：2,000円 妊娠の可能性のある人・胃の手術をした人・現在胃を治療中の人、過去に胃透視検査を受けた際にじんましん・顔色が青白くなった・手足が冷たくなったなどのアレルギー反応が出た人は受けられません。	
	胃内視鏡検診 50歳以上の人	内視鏡検査（カメラ）～69歳：5,000円 / 70歳以上：2,500円 鎮痛薬・鎮静薬を使って検診を受けたい、妊娠している、入院している、胃を切除している、抗血栓薬を服用している、消化性潰瘍などの胃疾患ですでに受診中である、咽頭・鼻腔などに重篤な疾患があり内視鏡の挿入ができない、呼吸不全がある、急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患がある、明らかな出血傾向またはその疑いがある、収縮期血圧が極めて高い人は受けられません。	
■ 骨粗しょう症	昭和53年4月1日～昭和54年3月31日生まれ 昭和43年4月1日～昭和44年3月31日生まれ 昭和44年3月31日生まれ	500円（身体計測・骨量測定） ◎40歳・50歳の女性は骨量をチェックしましょう。 受診券は5月末に送付しました。転入・紛失などで受診券がない人は、さんて郡山へ受診券の発行を申し込んでください。	・受診券 ・健康保険証
■ 肝炎ウイルス	昭和53年4月1日～昭和54年3月31日生まれ	B・C型 1,200円 受診券は5月末に送付しました。転入・紛失などで受診券がない人は、さんて郡山へ受診券の発行を申し込んでください。	・受診券 ・健康保険証
	昭和53年3月31日以前生まれで、今まで肝炎ウイルス検診を受けたことのない人	B・C型 1,200円 受診を希望する人は、さんて郡山へ受診券の発行を申し込んでください。	
■ 乳がん	40～49歳の女性 （昭和44年4月1日～昭和54年3月31日生）	2方向 3,000円 乳房エックス線検査（マンモグラフィ検査） 実施場所 ＝大和郡山病院・済生会奈良病院・高井病院・平成記念病院・メディカルプラザ薬師西の京（西の京病院隣）・メディカルなら奈良市総合医療検査センター・天理市立メディカルセンター（7カ所とも要予約） ※現在乳房の病気で治療中または経過観察の人、妊娠中・授乳中・断乳直後・豊胸手術をしている人、ペースメーカーを入れている人は受けられません。	・受診票（さんて郡山で発行、送付可） ・健康保険証 
	50歳以上の女性 （昭和44年3月31日以前生）	1方向 2,000円	
■ 子宮がん	20歳以上の女性 （平成11年3月31日以前生）	頸部：2,000円（診察・細胞診） 頸部・体部：3,500円（ハイリスク者のみ） 実施場所 ＝県内指定医療機関	

< 検診対象者の内、検診が無料になる人と手続き方法 >

検診の種類	70歳以上（昭和24年3月31日）以前生の人	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ひとり親家庭等医療費受給資格証をお持ちの人	生活保護世帯・市民税非課税世帯の人
がん（胃部エックス線・肺・大腸） 肝炎ウイルス	検診時に年齢がわかるもの（保険証など）を医療機関に提示	検診時に該当資格のわかるもの（手帳もしくは資格証）を医療機関に提示	受診前にさんて郡山に申請し、無料証明書の発行を受ける。電話の場合はさんて郡山に申請書の送付を申し込み、記入した申請書と切手を貼った返信用封筒を送り返します。
胃内視鏡・骨粗しょう症			
乳がん・子宮がん	受診前にさんて郡山に申請し、無料受診券の発行を受ける（年齢や該当資格がわかるものを提示）		

II 各種健康相談

事業名	日時	対象・備考	実施場所
■ 健康相談	2月12日（火） 9:00～11:00・13:30～15:30 ※申し込み時に時間の予約をしてください。	要予約 検診結果や生活習慣の見直しについてなど、保健師や管理栄養士が相談に応じます。体脂肪測定もできます。	さんて郡山
■ 精神保健福祉相談	2月27日（水） ①14:00～ ②15:00～ ※申し込み時に時間の予約をしてください。	要予約 精神科医による相談。不眠などの精神的な症状で悩んでいる人は気軽に相談してください。定員2人。	

風しん大流行の再来！？

昨年8月頃から関東地方を中心に風しんの患者数が大幅に増えています。10月頃からは、大阪府においても風しん患者が増加していることから奈良県でも注意が必要です。

風しんにかからない・うつさないようにするために、積極的に一人でも多くの人々が風しんへの抵抗性がかかる血液検査（抗体検査）と風しんワクチン含有予防接種を受けましょう！（奈良県医師会）

昭和19年2月2日～昭和19年3月1日生まれの人へ：今月下旬ごろに、「後期高齢者医療被保険者証」を書留郵便で発送します。（保険年金課医療係）